



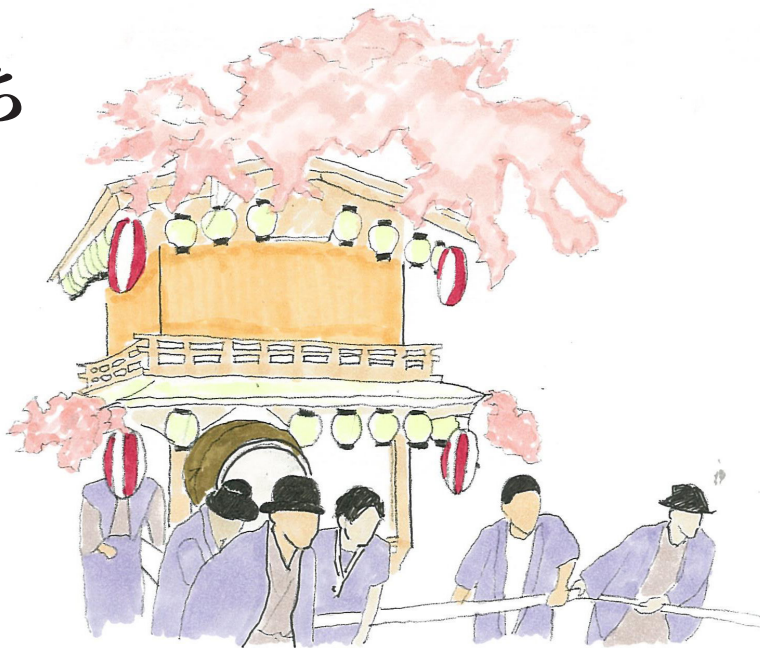
日光東町まちづくり規範

発行日 2023年3月  
発行 日光東町まちづくり推進委員会  
監修 宇都宮大学地域デザイン科学部 遠藤研究室・大嶽研究室  
相談窓口 NPO法人日光門前まちづくり mail | nikkomonzen@gmail.com  
日光市都市計画課都市計画係 TEL | 0288-21-5102  
企画 | 編集 | 作成 NPO法人日光門前まちづくり

いのり  
祭のまち日光門前  
まちなみづくりのための手引  
日光東町まちづくり規範概説



# いのり祭のまち



## まちづくりのテーマ「いのり祭のまち」とは

日光門前の東町地区では、地区総出の社寺のお祭りから町内ごとに行われるお祭りまで年間を通じて大小さまざまな「祭り」が行われています。これらの祭りは、地区のコミュニティの象徴であり、町内単位を越えて地域として共通に認識でき、今後も守り続けていくべき文化のひとつといえます。

こうした「祭り」を中心とした文化・コミュニティが、これからも受け継がれていくためにも、「祭り」を発想の中心に据えたまちづくりを行っています。

一方で、日光の特徴として、二社一寺に代表される神社仏閣の信仰や、様々な信仰の聖地であり、あらゆる信仰や願い、さまざまな「いのり」の気持ちが集まってくる懐の深い神聖な場所であることがあげられます。これもまた、「いのり祭のまち」のテーマの大きな要素です。

## 「まちづくり規範」とは

まちづくりのテーマ「いのり祭のまち」を体現、実行していくための指針として「まちづくり規範」を制定し、日光の門前町として品格のあるまちづくりを目指しています。

祭の継続や水資源の保存・活用、商業力やまちの回遊性の向上、建築等の形や設えにまつわることで、まちづくりに大切と思われる 22 項目の“作法”を示しています。

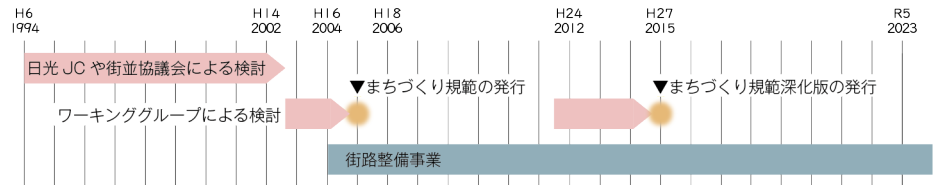
## 地域の思い…

「日光連山の山々を見ながらゆっくり歩いていただきたい」  
「まちなみに空を取り戻そう」

今から約 30 年前、そんな思いが住民の中にありました。様々な議論や検討を重ねて、現在の道路（歩道）拡幅とまちなみ整備のプロジェクトが続いています。



## これまでの流れ



ワーキンググループでのワークショップの様子

## なぜ、“まちづくり”なのでしょう？

未来へ向けて

守り続ける

魅力ある

保全

企画・活用・創出

「まちづくり規範」にはこのような言葉が多く並びます。

「まち」のためになることや、未来へ向けた活動は、じわじわと後に効き、盤石なものに。そうして生まれた形（かたち）やまちなみ・景観は、やがて個々（それぞれ）のためにも！

「まち」や「みんな」を考えることは、「のちの自分」を考えること。

それらは、やがて地域の財産でありそれぞれの財産にもなっていきます。

そのためには、中長期的な視点に立った息の長い活動が大切です。

まちづくりをしましょう！

# 建物による形づくり・まちなみづくりのポイント

「祭のまち」のまちづくりで目指すまちなみ・景観づくりのポイントを、建物部分を主に紹介します！

## 手がかりとなる言葉

### ▶ 「連続性」と「調和」が大切！

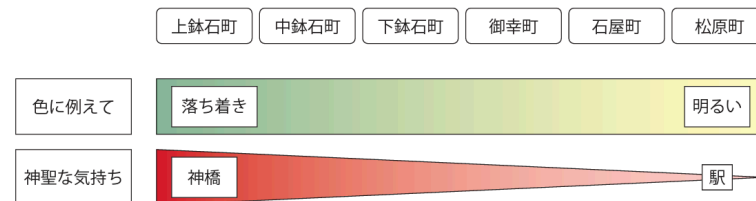
通りなどから見える外部空間の「連続性」と、近隣との「調和」を大切にしましょう。

### ▶ 家体やお神輿が通った時に、似合うまちなみに！

和風調を基調とした品格のある景観を目指しましょう。

## 色・トーンによる駅前から神橋までの景観「演出」のイメージ

日光駅から神橋までの1.4kmの道のりを歩いていくにしたがって、落ち着いた神聖な気持ちになっていくような空間づくりを目指しています。



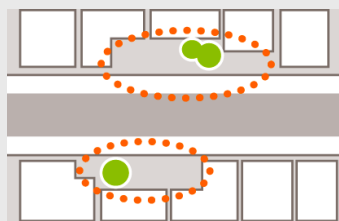
主に国道119号（大通り）沿道で

## 1 建物の位置

### 壁面を揃えましょう！

### 半公共空間（1m セットバック（後退部分））を上手に活用しましょう！

連続性を保つために、大通りに対して、なるべく壁面を揃えましょう。壁面以外でも、次項「2」のように軒や下屋で工夫も可能です。建物前面を駐車場とする場合には、特に連続性を意識した設え等をお願いいたします。（P5 参照）



規範の項目▶

F-5 空間の連続性に配慮しましょう

それ以外の区域でも

## 2 建物の大きさと屋根の形状

### 両隣と階数を合わせましょう！

### 屋根は平入りまたは入母屋を基本としましょう！

### ▶ もしもそれができない場合は…

- ・一階部分の軒を両隣と合わせる
- ・一階部分に下屋※を設ける
- ・上階を道路からセットバックさせる

などの工夫をしましょう

※下屋：母屋の屋根より一段下げた位置に取り付けられた片屋根、またはその下にある空間のこと



規範の項目▶

F-1 現存する和風の建築を参考にしましょう

F-5 建物と空間の連続性に配慮しましょう

## 3 素材

### 天然の素材を使いましょう！

天然の素材を使用することにより、色合いや質感、経年の古びなどが景観づくりに大きく寄与します。ワンポイントでも天然の素材を使いましょう。両隣と素材を揃えることも有効です。

### ▶ 例えば…

- ・在来の安山岩、大谷石
- ・日光産の木材、漆喰 など



規範の項目▶

F-2 天然の素材にこだわりましょう

## 4 細部 / ディテール

### 細かい部分の工夫でまちなみづくりに参加しましょう！

細かな部分によっても、まちなみ・景観づくりに参加できます。

### ▶ 例えば…

- ・木材を活用した看板、下屋、椅子やバツタリ床几、格子戸
- ・暖簾、太鼓幕などの布
- ・提灯、行灯 など



今日からできる

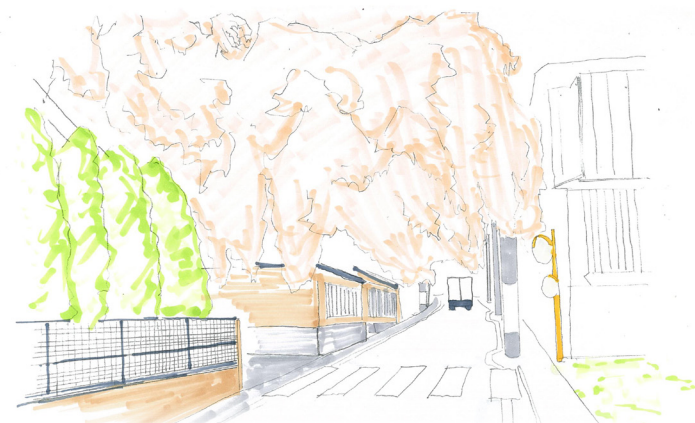
# 小さな単位でのまちなみ参加

しゅうけい  
～修景の手引き～

修景とは…

建築物や公共施設の形態・意匠・色彩を周囲の町並みに調和させることや、ストリート・ファニチャーの配置など、都市計画的な景観整備一般を指すことが多い言葉です。ここでは、主に民間・個人でもできる小さな単位のことを「修景」と呼んでみます。

**まちなみへの参加** 小さなことから「景観・まちなみづくり」に参加しましょう！



**塀や植栽・下屋などで連続性と豊かさを！**



△駐車スペースの工夫例（笠間市にて）

**店先に活動を生む小さな空間づくりを！**



▽ベンチ、テーブル、屋台

△前庭の活用例



**玄関や店先までのアプローチをより魅力的に！**



▽石や植栽による工夫

△店先に「奥」をつくる（小布施町にて）



**看板にこだわりを！**



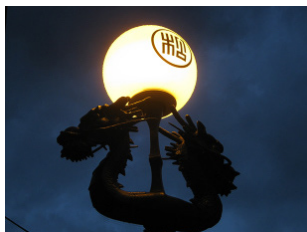
△看板の例

通りと直行したのものには特に工夫と配慮が必要です

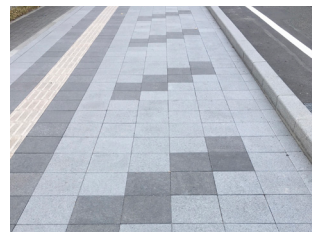
## いのり 祭のまちの公共のデザイン

日光の門前地区では、新たに整備された公共空間のデザインにも「祭のまち」が体现されています。

龍の街路灯



国道沿いの歩道の舗装



御幣を模したデザイン



日光のコスモロジーを現した星座

## 両隣や近隣町内等でのコミュニケーションを！

個人や建物・敷地単位での工夫が必須ではありませんが、「まちなみ・景観づくり」では連続性をもっていること、調和が取れていることが大切です。建物や小さな単位での修景の工夫などでも、町内や隣近所等での相談や調整をお願いいたします。



石屋町での「まちなみ懇談会」の様子（2009年）



まちなみづくりに関する相談窓口はこちら  
NPO 法人日光門前まちづくり nikkomonzen@gmail.com  
日光市 都市計画課 0288-21-5102